

2021年度 学校関係者評価委員会 結果

自己点検・自己評価について

今年度も就職支援や国家試験対策など、学生への学習支援を急遽変更せざるを得ない状況であった。そのような状況の中で、SNS を利用した情報伝達やGoogleフォームを利用した健康確認やリフレクションによって、学習内容の保証、学生の思いに寄り添える関わりを意識した。

国家試験対策においても、できるだけ例年通りとし、外部講師と教員による補講の実施や学習場所の確保など、学生個々の成績や心理状態に合わせた対応を行い、満足度については高い評価であった。

卒業時カリキュラム評価について

学生の卒業時カリキュラム評価では、高評価であった昨年度に比べても遜色のない評価がされている。コロナ禍の影響もあり「課外活動に満足している」が低いため、今後は感染状況を踏まえた対応が必要である。

また、ここ3年間「わかりやすい授業が多い」「学習するための教材及び図書は十分である」の評価が低い。授業内容が難しい可能性と教える側の問題の両面を考え、授業は原則スライドを使用し事前配布を行うとよい。教材や図書は予算をつけ購入すべきである。

就職後の動向については調査不十分とあるため、今後調査を実施し離職防止に向けた対策を講じるとともに、学生のキャリア教育の体系化に向けた取り組みを行ってはどうか。